

2017年9月27日

埼玉県民のための医療セミナー
もっと知ってほしい小児がんのこと
小児がん支援のレモネードスタンド

(共催：埼玉県立小児医療センター／埼玉県男女共同参画推進センター／認定NPO 法人キャンサーネットジャパン)

感想の報告

2017年9月23(土・祝) ホテルブリランテ武蔵野 4F With You さいたま セミナ
ー室 にて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。当日は、
43名の小中高校生・大学生・一般の方と、16名の見学者の方が来場されました。参加者
のうち36名の方から感想を頂きました。(回収率83.7%)。また、見学の皆様16名から
も感想を頂きました。頂きましたコメントは、判読が難しいものも含め、原則全て記載し
紹介しています。ご回答ありがとうございます。

(1) 参加者の属性

①性別：男性	22.2%
女性	77.8%
②属性：小学生	13.9%
中学生	16.7%
高校生	25.0%
大学生	19.4%
一般	25.0%

(2) 「小児がん」について思ったこと・感じたこと。

【小学生】

- ・ 大変だ
- ・ つらいので大変だなあと思いました。
- ・ 小児がんにかかっている子どもたちのことがよく分かりました。その子どもたちや、
いま、がんにかかっている人たちにがんばってほしいです。
- ・ 子どもでも大人でも小児がんになってしまうので、もっと勉強したいと思いました。
- ・ お兄ちゃんの病気のことをよく分かりました。お兄ちゃんの病気をなおしてください。

【中学生】

- ・ 今まで、がんはマイナスなイメージしかなかったけど、がんになって分かったことや、
がんになったから出来ることなどたくさん知れてよかったです。今お兄ちゃんのがん
なのでがんばってほしいです。
- ・ 小児がんは、治る病気と分かって良かったです。改めて小児がんについて学びました。

- ・ つらいちりょうを乗り越えてきた人が少しでもいることを改めて感じた。
- ・ 小児がんは治りやすくなっているとわれ、日本の医療はすごいなと思った。
- ・ このイベントをお母さんからきいてきたのですが、話をきいて本当にみんなが小児がんについて知って支え合った方がいいのだと思いました。

【高校生】

- ・ 今までのがんについての悪い偏見が少しなくなった感じがしました。がんというだけで、不治の病のようなイメージがあったために、今の小児がんの完治率を知って驚きました。これから更に技術が進歩し、小児がんだけでなく、他の病気の人までなおせる世の中になればいいなと思っています。
- ・ 小児がんは治りにくいものだと思っていました。治る病気になりつつあるというのは初めて知りました。私は小児がんではないし、大きい病気もしたことがなかったので体験談を聞くことができ、とても勉強になりました。小児がんについてもっと知識を深めていきたいです。
- ・ 小児がんにかかっている子、患ったことがある子にはまだ出会ったことはありませんが、小児がんについて身近な病気であったのだと分かりました。
- ・ 小児がんにかかっている人は身近にはいなかったのですが、今回知ることができて良かったです。技術の進歩により治るがんが増えているので、安心しました。これからも発展してほしいです。将来、小児がんにかかっている人に出会うことがあるかもしれないので、もっと知識を深めたいと思いました。
- ・ 自分にとっても遠いものではないと分かった。小児がんを克服した方の話を聞いて辛い思いをしつつも夢を持って生きている患者さんの力になりたいと思った。
- ・ 思っていたより、小児がんになる人は少なくないのだと知りました。また、治る可能性がこんなに高いことも知りませんでした。がんだから「死」というイメージではなく、前向きに頑張る普通の生活を取り戻す人も多いということがもっと知られたらいいなと思いました。
- ・ 小児がんにかかった高校生のための高校が、とても少ないように思った。入院して院内学級に入っても、きちんと単位がとれて進学に障ることがないように制度を整える必要があると思った。また院内学級では、小児がんの治療と並行してどのようなことが学べるのかも興味を持った。
- ・ 先生たちの話を聞いて、がんを恐れてはいけないなと改めて思いました。
- ・ 知らないことのほうが多く、基礎的なことでもとても大切だと思いました。研究することで治療方法が確立されるようなので、そのために自分ができることはやりたいと思いました。

【大学生】

- ・ 一生懸命がんばっている姿に自分もがんばろうと思いました。
- ・ 小児がんは（がん含め）不治の病気というイメージがあったが、どんどん治る確率は上がっていることを知って、がんについてのイメージが変わった。「がん」をマイナ

スなことと、とらえないこと}という言葉が印象に残っている。

- がんは重い病気であるというイメージがありましたが、特別に考えるのではなく誰にでも起こることであると理解し、受け入れて応援していくことが大切だと分かりました。
- 子どもにとっても、大人にとっても大きな影響のある小児がんは近年治療を行えばなおりやすくなっていることを知って、小児がんを発症した子ども本人にとっても希望が見え、人生の転換のきっかけでもあるなと思った。
- 治る病気であること！特別視するのではなく、ふつうにすること。
- 小児がんのことを知り、小児の認定看護資格をとりたいという気持ちがつよくなりました。
- つらい病気ではあるが、それを克服した子どもたちは病気を通して成長できるということに感動した。

【一般】

- プラス思考に考えることができるようになった体験者のお話は良かったです。支えるまわりの大人たちがすばらしいですね。小・中学校でのガン教育のすすめ方に参考になりました。
- 今まで思っていた事と大分違い、前向きにとらえていける気がしました。本人、ご家族の方もがんばっている事がよくわかりました。
- 小児がんについての正しい理解（当事者、経験者の方の想いも含め）が大切だと思いました。勉強できる機会をつくれたらいいなと思っています。
- 小児がん 100%完治できるよう先生達にがんばっていただきたいと思いました。
- 治らない病気のイメージが強かったため、先生方、色々な方々とのつながりを信じてずいぶん治るようになってる病気なんだと感ずることが出来ました。まだまだ100%にはなっていないので良い治療が1日も早く開発してくれることを願います。それにはレモネードスタンドは必要だと思います。
- がん治療をされているお子さんみんな明るく元気なので小児医療センターで娘が入院してからイメージが変わりました。
- 現在、身近で小児がんの子はいないけれど自分の子供はもちろんです、お友達で闘病している子がいたら応援していきたい。小児がんは治る病気だから大丈夫だと信じたい。間中さんのスピーチ、とても感動しました。ありがとうございました。
- 治療ができる病気になりつつあり、ふだんの生活で支える環境が必要なのだと気付くことが出来た。
- 今を、未来を、夢を

(3)「レモネードスタンド」について思ったこと・感じたこと。

【小学生】

- おいしかったです。(さんみがあったので)
- わたしもこれを見つけたら募金してみたいです。

- ・ 外国では、どうしてつらいことをレモンにたとえるのかが不思議だったけどこのイベントをやって、やっとわかったきがしました。

【中学生】

- ・ アレックスちゃんの話聞いてすごく感動しました。レモネードスタンドでたくさんお金がかせげてすごいと思いました。
- ・ とても美味しく作れて良かったです。貴重な体験でした。
- ・ 自分でもつくって売って、少しでも完治する人を増やしたいと思った。
- ・ 少し酸味があり、すっぱく感じたが全て売れたのでうれしかった。自分達で作るレモネードはおいしいなと思った。
- ・ お家でたまにレモネードをつくったりしたことがあるけど、また家で作るのとはちがって小児がんの子たちを元気にしてあげてたのしめたらいいなと思いました。

【高校生】

- ・ 名前だけは知っていたけれど、Alexさんの心温まるエピソードは知りませんでした。この活動が更に多くの人に知られると良いなと思っています。
- ・ このような活動があることは、初めて知りました。これからも小児がんが治る病気になっていくようにしていくべきだと思います。またレモネードスタンドが近くで行われるなら参加して、小児がんの子の助けになればなと思っています。
- ・ レモネードはとてもおいしくて、おいしいもので多くの子どもの命が救えるであろう研究をすすめることができるのはとても素晴らしいことだと感じました。ぜひレモネードスタンドを実践してみたいと思いました。
- ・ 1人の少女が始めた行いが、今は海外でも行われ、支援する人がたくさんいることに嬉しく感じました。もっとたくさんの人に知ってもらって活動が増えていけばいいと思います。私もいつかたずさわりたいです。
- ・ レモネードを売る由来である“When life gives a lemon...”の言葉が心に残った。夏祭りのできるか検討したい。
- ・ レモネード作りはとても簡単で、おいしくできました。高校の文化祭でやってみたいと強く思いました。1つ1つは小さな取り組みでも、たくさんの方の支援の気持ちを集められるのだと驚きました。“レモネードスタンド”について知らない人も、少なくはないと思います。私自身が“レモネードスタンド”を広げるきっかけになればなと感じました。文化祭のできるようがんばってみます。
- ・ 簡単にレモネードがつくれた。しかし、宣伝文句の『「冷たい」レモネード』ではなかったなので、もし文化祭でレモネードスタンドを開催することがあったら、氷を入れてみようと思った。水で割るだけでなく、三ツ矢サイダーとかで割ってみたい。そしてレモネードスタンドで得たお金をどこに寄付されて、具体的にどんなことのために使われるのかをもう少し分かりやすくする必要があると思った。
- ・ がんと戦いながらも、懸命に頑張る姿がすごいと思いました。
- ・ 来年の高校の文化祭でやってもらえるように後輩にたのみたいと思いました。大学生

になれば、大学でもやってみたいと思います。

【大学生】

- とても楽しく、新鮮なレモネードを飲むことができ、おいしかった。
- アレックスちゃんの言葉が、とても強くたくましく感じられ、こちらが勇気をもらった。レモネードスタンドは、すぐに催すことができることを知らなかったため、勉強になるとともに、私もいつか何か関わりたいと感じた。
- 誰でも手軽に支援にとりくめるということが体験を通じて実感できました。このような1人1人がとりくめる支援活動がより増え、広まっていくと良いと思いました。
- 小児がんとたたかう子どもたちのために一人の女の子がレモネードを作って売ったお金を病院にきふするというのは、大人でもなかなかできないことだと思った。アレックスちゃんの夢がかなえばいいと思った。
- すっぱかった。
- 小さな子どもから世界中の方々にひろまることがすごいと思いました。
- 「レモネードスタンド」という言葉や、そのような活動をしている人がいることを知れて良かった。

【一般】

- 小児がんの研究費に高校、大学の文化祭、夏祭りなど（バザー）でも、レモネードスタンドをとりにくむのもいいと思いました。
- とても飲みやすく、おいしかったです。季節に応じて、アイスとホット、楽しめそうですね。ありがとうございました。
- アレックスちゃんのお話は初めて知りました。子どもたちにもわかりやすい内容だと思いますので、紹介したいと思います。レモネードとってもおいしかったです♪
- 子供の文化祭や市民講座などで自分も参加できたらいいなと思いました。少しでも小児がんの治療のために役に立ちたいと思います。
- とてもすばらしい活動だと思いました。もっともっとみんなに知ってもらいたいと思いました。次回は友達や子供もさそって、この活動がどれだけ素晴らしいものか見て聞いてもらいたいと思いました。そして募金活動を必ずやりたいと思いました。
- 参加できたら、いい出会いができそうな予感がします。
- 初めてレモネードスタンドについて知りました。最初の映像をみて泣きそうになりました。チャンスがあればレモネードスタンドやってみたいです。
- 是非、日本でも学校や社会人へのレモネードスタンドをたくさん開催できたらと思います。
- 医療、科学と経済。本当は多くの人々がつながる意味。思ったよりも大人ってすごいと感心して欲しい…でした。

(4) 見学者の属性

①性別：男性	12.5%
--------	-------

女性	87.5%
②立場：親	93.8%
その他	6.3%
③参加目的	
小児がんについて知りたかったから	50.0%
子ども・兄弟・姉妹が小児がんだから	62.5%
知人・友人が小児がんだから	0.0%
家族や知人ががん（大腸がん・乳がんなど）なのでがんについて知りたかったから	18.8%
レモネードスタンドのお話を TV で見たことがあったから	31.3%
ボランティア活動や、社会貢献に興味があったから	31.3%
送迎（付き添いのため）	12.5%
その他	18.8%
その他（詳細） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在看護学校に通っており小児病棟で働きたいと思っているから ・ 以前、小児がんの児とかかわった事があり、何か力になれないかと思ったため。 ・ まわりに小児がんのお子さんがいらっしゃった時に、何かサポートができればいいなあと思ったので。 	

(5) 「小児がん」について思ったこと・感じたこと。

- ・ 治る病気になる病気になりますので、希望を持って子供と一緒に闘病していこうと思います。主催者と先生の方々、ほんとうにありがとうございました！
- ・ 現在、外来で維持療法中。改めて病気のしくみがわかって良かったです。
- ・ 息子が小児がんで、小児医療センター入院中です。すごくつらい事もたくさんあります。でも今日の話聞いて少し前向きになりました。本当にたくさんの人に知ってもらいたいなあ～って思いました。
- ・ 埼玉だけでも毎年 100 人くらいの子供が発症しているというのが思ったより多かったです。
- ・ 先生方の話しの内容がわかりやすかったです。こわがらずもっと勉強していきたいです。
- ・ 以前、身内に小児がんで亡くなった方がいたので、とても怖い病気だとずっと思っていました。でも今日話をきいて治る確率がすごく高くなった、むやみに怖がることがないと思いました。
- ・ 小児がんを告げられたときのお子様ご本人、ご家族の方のお気持ちを察すると胸が痛みます。しかし、得られるものも多いのだということも知りました。今よりも医学が進歩し、苦しい思いをすることが少しでも減っていけばいいなと思いました。
- ・ 先生方の話がとてもわかりやすく、子どもたち自身が病気とむきあうことができたと思います。
- ・ 身近に感じられる病気。小児がんが一日も早く治り、治療方法が進めばと思います。

- ・ 今まではあまり考えた事がなかった小児がんについて子供にも分かりやすいように話して下さったのが良かったと思いました。
- ・ 将来、全ての小児がんが治るような治療法ができればと強く思いました。間中さんのお話、とても参考になりました。きっと患者さんの心に寄り添えるいいお医者さんになれると思います。
- ・ 早く完治する世の中になってほしい。
- ・ 私も今日ここに来るまでは「小児がん」は死んでしまう病気でもあると思っていました。でも今日ここに来て、治療して、元気になる可能性のほうが大人よりはるかに多いと思いました。若い頃、友人の子供が白血病で治療しており現在は社会人になっています。私の子供達は元気ですが、小児がんと聞くと人ごとに思えません。成長していくわが子にもこのような会がある事を知ってほしくてつれてきました。
- ・ 小児がんは治りやすい!!ということを生方方が話をして下さり勇気ができましたと大きな声で言いたいですが、やはりどうしても我が子の場合は…とってしまいます。この考えはいけないと思っています。でも現実…。しかし、医療センターの先生方が日々一生懸命治療をして下さるので私は信じます。先生方宜しくお願いします。
- ・ これまで何となく怖い…というイメージしかありませんでした。治療のこと、完治する子が増え続けているということに、希望が湧きました。

(6) 「レモネードスタンド」について思ったこと・感じたこと。

- ・ やり甲斐のあるボランティア活動ですので、応援させていただきたいと思います。小児ガンは社会全体の支援が必要だと思います。
- ・ 夏など、とても良いと思いました。おいしかったし、祭や街角で開催して浸透していけば良いと思いました。
- ・ TV で見た事がありましたが、日本でこの活動が行われている事は知りませんでした。私もそうでしたが、あまりにも小児がんの事もレモネードスタンドのことも知らなすぎると思います。もっともっと情報を広めてほしいと思います。
- ・ 子供でもかんたんにできて手軽にはじめられるのがいいと思った。
- ・ すばらしい活動だと思います。
- ・ 初めて参加しました。とてもすばらしい活動だと思います。
- ・ 思った以上に簡単に作れるのだなぁと思いました。炭酸でもよさそうです。子供の学校での文化祭などでも出店できればと思います。また、娘の通う学校がサポーターになっていることを初めて知りました。
- ・ 子供が新聞から知ったことで今回の参加につながりました。自分も含め子供に病気について知ったり、活動を知って何か感じてもらえたらと思い2時間をすごしました。今まで知らなかったこの活動を知ることができ良い経験をさせていただきました。誰もが参加しやすいレモネードスタンド活動だと思います。
- ・ 小児がんを経験した子たちでやりたいと思います。
- ・ まだ余り知られていない。国や自治体、他にもアピールしては良いのでは？社会に少しずつでも知って欲しい。ボランティアも増えて欲しい。活動を広げればと思う。(ポ

スター啓蒙が有れば良いと思う) (広告が足りない)

- 初めて参加したのですが、学校やおまつりなどの団体に支援出来たらもっと広がるので紹介したいです。
- 私もしモネードスタンドに参加して小児がん研究支援をしたいなと思いました。子供も文化祭等で実施できればと思います。
- 全国にこの運動が広がれば良いなと思いました。
- 私もいつかどこかでしモネードスタンドを行ってみたいと思いました。本日は娘と参加したのですが、これから高校生とかになり、どこかでこのしモネードスタンドをひらいて、人の役にたてる人になってほしいですネ。
- しモネードスタンドの存在を初めて知りました。一杯のしモネードが小児がんの子供達を救えるのなら、ぜひ協力出来ることはしたいと思いました。しモネード、おいしかったです。
- アレックスの話は TV で見ていて知っていました。しモネードスタンドを応援する団体が日本にもあるということを知り、初めて知りました。知ることができただけでも良かったです。しモネードスタンドの意味がよく分からなかったけれど、研究費が年間 2 千万円も必要だと。初めて知りました。